

住宅向けビニル床タイル「ホームエグザ」の施工について

◆製品に関してのご注意

光、熱による影響	ビニル床タイルは光や熱の影響などにより変退色・変形する場合があります。	家具などによる凹み	家具やハイヒールなどの局所荷重により、へこみ跡が残る場合があります。
直射日光による変退色	長時間直射日光が当たる場所では、変退色が早くなる場合がありますのでカーテン・ブラインドなどで日よけてください。	重量物による損傷	重量物や車輪の移動荷重によって、ビニル床タイルの表面を傷つけたり、膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにご注意ください。
汚染による影響	強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキや毛染め剤などの汚染物質及びゴム製品等により変退色や変質を招く場合があります。		

◆使用上のご注意

土足	室内用ですので土足での使用はお避けください。
ピアノなど	ピアノなどの重量物を置く場合は、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き荷重を分散させてください。また、移動させる時は引きずらないでください。
キャスター	キャスター付き椅子および家具を使用しても破損したり表面にへこみ傷が生じにくい製品ですが、傷やへこみがつかないということではありません。特に金属製や球形状のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。
椅子の脚など	椅子の脚にゴムキャップやフェルトなどをつけると床表面の傷つきを防げます。マットなどゴム製の敷物の裏面、椅子や家具などのプラスチック製の脚および脚につける緩衝材などは、材質によっては長期間床面と接触していると、含有成分が浸透して色移りすることがあります。浸透して色移りすると除去できませんのでご注意ください。
ホットカーペットなど	ホットカーペットや温風ヒーターなどをご使用の際は、目地隙、はがれ、膨れ、突き上げ、変色などの原因となりますので、床表面に熱が伝わらないようにご使用ください。
タバコ	火のついたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。こげ跡がつくと取れません。
消毒液・抗菌・除菌スプレー	市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、記載の用法・用量に従い、あらかじめ目立たない箇所を確認してからご使用ください。また過剰な塗布は避け、薬液を含ませた布で拭くか、適量をなるべく均一に噴霧するようにし、噴霧後に硬く絞った布巾で水拭きをしてください。また次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）・次亜塩素酸水は、濃色のビニル床タイル およびビニル床タイル上のワックスが白濁する恐れがあります。また消毒液を使用の際に、容器から液体が床に垂れることがありますので、あらかじめ容器の設置箇所にマットを敷いておくことをおすすめします。
車イスの使用	車イスの繰り返し使用や、車イス自体の材質・形状などの条件によっては、表面にキズや汚れが付くことがあります。屋外でご使用になった車イスを乗り入れると付着した土砂で、床表面に傷が付くことがありますので、土砂をはらってください。

◆施工上のご注意

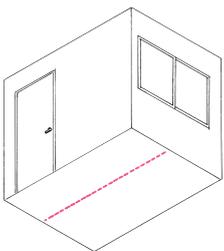
施工準備	梱包ケースに記載の品名、規格、色番号、ロット番号、数量などを確認し、施工を開始してください。尚、製品を保管する際は、湿気の少ない平坦な場所で平置きし、6段以上積まないでください。
貼り方向の確認	タイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。
下地	下地は湿気が少なく平坦で強度があることが必要です。下地が悪い場合は予め下地補修をしてください。湿気の上昇が想定される場所では強アルカリ化した水分の影響により臭気の発生や接着力の低下、それに伴う目地隙、はがれ、膨れ、突き上げなどの現象が生じる可能性があります。これらの現象を抑えるためには下地をよく乾燥させ、下地の含水率を8%以下にしてください。下地に接着剤や油脂類、ワックス、グリス、塗料などの汚れが残っていると、接着不良や汚染の原因になりますので、完全に除去してください。
重ね貼り	木質系下地、木質フローリング、クッションフロア等の上に重ね貼りができますが、クッション性が高い場合や、凹凸差が激しい場合には施工できません。畳、カーペットなどの柔らかい素材には施工できません。既存床のはがれや傷等は仕上がりに影響しますので補修してください。また汚れやWAX等は除去してから施工してください。
OAフロア・フリーアクセスなどの二重床への施工	二重床はピールアップ性が強く求められるため、接着剤「CP-7L」による施工が必要です。二重床自体が動く場合があり、それに伴い製品のずれや反りが発生する場合がありますので予め防止しておくことが必要です。※ただし乾式二重床については「ルビロン101、ルビロンエース」を用いての施工をお願いします。
現場環境	ビニル床タイルは、施工時の温度に影響を受けやすく、室温と床材に温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどを起こす事があります。低温時は特に接着剤の接着力が弱くなります。現場環境は室温 15℃～25℃、湿度 75%以下が望ましく、温度が低い場合はジェットヒーターなどの暖房器具で現場を温めるようにしてください。5℃以下では接着剤の反応が悪いため施工をしないでください。施工の前後 12～24 時間も室温 15℃～25℃、湿度 75%以下を保つことが好ましく、直射日光・水洗い・重量物の走行等も避けてください。
接着剤	接着剤は施工する場所、条件、環境等により使い分けてください。接着剤は各使用方法に基づきご使用ください。
養生	養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼り付けしないでください。床材を汚染する原因となります。施工直後に養生シートを使用した場合、ビニル床タイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、ビニル床タイルの反り、突き上げなどが生じる場合があるため、養生シートは通気性のあるものを使用してください。
部分取り替え	取り替え部は、製品ロットの違い、日焼け等により色・サイズが合わない場合がありますのでご了承願います。

◆施工方法について

【施工に際して用意するもの】 ・カッターナイフ・メジャー、定規・接着剤・くし目ごて・床材用の圧着ローラー

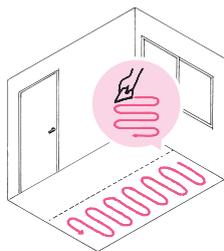
1. 割り付け

部屋のサイズを測り、貼り始めの位置を決めます。部屋の中心に墨打ち線を引きます。基本はセンター割り付けをしますが、両端にあまり細かい材料がこないようにセンターをずらして割り付ける場合もあります。仮並べをして、貼り位置を確認することをお勧めします。



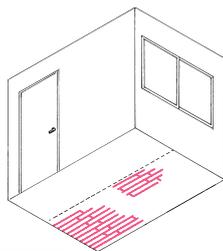
2. 接着剤塗布

墨打ちした部屋の半分ごとに施工します。専用くし目ごてを使い、くし目を立てて接着剤がくし目形状になるように塗布します。接着剤については「指定接着剤一覧」をご確認ください。接着剤の選定、オープンタイム、貼り付け可能時間等に十分ご注意ください。



3. 貼り付け

墨打ち線を基準に貼り始めます。タイルを貼る際は、タイル間の隙間を無理に詰めず、上からのせるように貼り付けてください。タイルをカットする際には定規を当てて、カッターナイフで2～3回同じ箇所を切り込んでください。壁際や柱周りは垂直にカットしてください。斜めにカットすると突き上げの原因となります。

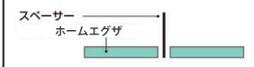


カット方法



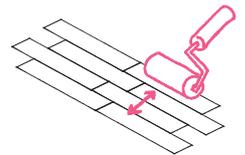
ホームエグザ(ピールアップ工法)の貼り付け上のご注意

15℃未満での施工は後日突き上げを起こす恐れがあります。やむを得ず15℃未満で施工をおこなう場合は、製品に同封しております施工マニュアル付きスパーサーをご使用ください。端部において、カットサイズの商品が入る場合はスパーサーを用い、すき目に施工してください。



4. 圧着

貼り付け後は必ず上から床材用圧着ローラーで十分に圧着してください。圧着が不十分の場合、接着不良によるはがれ、タイル表面にくし目跡が出る場合があります。



床暖房への施工について

床暖房下地へビニル床タイルを施工することは最も難しい施工のひとつです。これは床暖房を使用することによる温度変化によって、下地の伸縮、床材の伸縮、水分の変化等が通常より発生しやすくなり、そうなることで目地の間、突き上げ、床材の剥離または膨れ等の不具合が発生するおそれがあります。床暖房の床仕上げ材として使用するためには、きっちりと下地づくりを行うこと、そして指定接着剤で床材と下地を完全に接着させることが重要となります。十分に注意して施工して頂きますようお願いいたします。

※ホームエグザは床暖房で想定される耐熱性を有しており、製品自体の著しい劣化に対して配慮しておりますが、床暖房及び仕上げ材に対する影響は各メーカーにお問い合わせください。

◆ 床暖房の施工に関してのご注意

材料保管	商品を保管する際には、直射日光が当たらない乾燥した室内の平坦な場所をお願いします。タイルが変形し施工の仕上がりに影響をおよぼす場合があります。必ず24時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。5℃以下の環境下では保管しないでください。製品が硬くなり施工がしづらくなる場合があります。
下地	下地は基本的に平坦で強度があり、湿気が少ないことが必要です。不陸(1mで高低差2mm以下)、段差(0.5mm以下)を目安に平滑に仕上がっているか、クラック・隙間などがないかを確認してください。きしみやたわみがないかを確認してください。きしみ・たわみがあると接着剤の接着力を阻害し、剥離や浮き等の要因となります。下地が悪い場合は予め下地補修をしてください。高周波水分計を用いて、下地含水率が、8%以下であることを確認してください。湿気の影響により臭気の発生や接着力の低下、それに伴う目地隙、剥がれ、膨れ、突き上げなどの現象が生じる可能性があります。下地に接着剤、油脂類、ワックス、グリス、塗料等の汚れが残っていると、接着不良や汚染の原因になりますので、除去してください。
接着剤	接着剤は当社指定接着剤の「ルピロン101」、「ルピロンエース」または「RF ボンド」を使用してください。接着剤の塗布は付属のクシ目ゴテを使用してください。ピールアップ施工はできませんのでご注意ください。
パネル型床暖房	下地材は動きの少ない合板基材の木質フローリング材・合板(12mm厚以上)に限ります。動きの大きいパーティクルボード、MDF基材の木質フローリング材への施工は避けてください。下地材の段差が0.5mmを超える場合は、サンダー等で段差を削り平滑にしてください。隙間(0.3mm以上)があれば、エポキシ系パテで下地補修をしてください。
コンクリート埋設型床暖房	十分な事前加熱をし、下地含水率8%以下にしてください。補修箇所の確認および平滑性の確認をして頂き、クラックの段差はサンダーで削ってください。部分的に床暖房が施工されている場合、床暖房下表面と床暖房の施工されていない下地表面の温度差を15℃以下になるようにしてください。
施工後	施工後2日間は、施工時の温度を保った状態で養生してください。また接着剤が完全に硬化するまでは、極端な負荷や温度変化をさせないようにするとともに、直射日光・水洗い・重量物の走行等も避けてください。完全硬化時間後、接着不良(剥がれ、突き上げ等)がないか確認してください。床暖房の運転は、接着剤が十分硬化した後に行ってください。(目安として冬期：7日、春秋期：3日、夏期：1日程度)床暖房接地面に家具および敷物など断熱性の高いものが床に置かれ長時間熱が閉塞するような環境では、ビニル床タイルに支障をきたす場合がありますので施工後のご使用にも配慮願います。接着剤の硬化後、必要に応じてワックスかけをおすすめします。

◆ 指定接着剤一覧 F☆☆☆☆ JAIA4VOC 基準適合

種類	ウレタン樹脂系溶剤形	ウレタン樹脂系溶剤形	変成シリコン樹脂系	アクリル樹脂系エマルション形
品名	ルピロン101	ルピロンエース	RFボンド ^{※1}	CP-7N
品番	2R101-005	2RA-016	RE-540-S	CP-7L-2.5
容量	5kg缶	16kg缶	3kg缶×2缶	2.5Kg缶
入数	1缶	1缶	2缶	1缶
価格 (材料価格・税別価格)	13,250円	27,000円	7,000円/缶×2缶 ※2缶単位出荷	6,500円
標準塗布量 (㎡あたり)	約350g	約350g	約350~400g	約100~150g
標準塗布量 (1缶あたり)	約12~16㎡	約40~46㎡	約7.5~8.5㎡	約15~25㎡
オープンタイム (目安)	春・秋(15~20℃) 15分	春・秋(15~20℃) 10~15分	春・秋(15~20℃) 30分	5℃：20~30分
	夏(25~35℃) 10分	夏(25~35℃) 10分	夏(25~35℃) 10分	23℃：10~20分
	冬(5~15℃) 20分	冬(5~15℃) 15分	冬(5~15℃) 60分	35℃：5~10分
貼付可能時間 (目安)	春・秋(15~20℃) 40~45分	春・秋(15~20℃) 30~35分	春・秋(15~20℃) 60分	5℃：約50分
	夏(25~35℃) 40分	夏(25~35℃) 30分	夏(25~35℃) 30分	23℃：約40分
	冬(5~15℃) 50分	冬(5~15℃) 35分	冬(5~15℃) 90分	35℃：約30分
工法	一般工法・耐湿工法	一般工法・耐湿工法	一般工法・耐湿工法	ピールアップ工法
下地	モルタル コンクリート 木質系床材 クッションフロア ビニル床タイル	モルタル コンクリート 木質系床材 クッションフロア ビニル床タイル	モルタル コンクリート 木質系床材 クッションフロア ビニル床タイル	モルタル コンクリート 木質系床材 クッションフロア ビニル床タイル

※当社の指定接着剤は、JIS規格による接着基準を満たしていますので、必ずご使用ください。

※接着剤は、直射日光の当たらない場所(5℃~35℃)で保管してください。

※1 RFボンドは使用前に缶を10回以上よく振ってください。缶を振った際に中身を混ぜるスペース確保の為、充填量を缶の半分程度にしております。

住宅向けビニル床タイル「ホームエグザ」のメンテナンスについて

メンテナンス方法

床材を美しく保つためには、日常のお手入れが重要です。こまめな清掃やワックスがけをおこなうことで、床材をより長持ちさせることにもつながります。

◆ 日常のお手入れ

1. 床のゴミ、ホコリを除去します。
掃除機や乾式フロアワイパーなどを使用します。洗剤を使用する場合、床用の中性洗剤を使用します。
 2. 固く絞った雑巾で清掃します。
液体を床にこぼした場合は、放置せず、すぐに拭き取ってください。
- ※床材を汚れや傷から保護し、きれいな状態を保つため、必要に応じてワックスがけをおこなうことをお勧めします。

◆ ワックスがけ

1. 床の汚れを除去し、水拭き後十分に乾燥させます。
㈱リンレイ社製「オール床クリーナー」の30倍希釈液とスポンジタワシ等で汚れを落とします。
大量の液体を使用すると目地部分から入り込み、接着不良を引き起こすことがありますのでご注意ください。
2. ワックスを塗布し、十分に乾燥させます。
必要量の樹脂ワックスを移した専用トレイに専用モップを浸し、絞ってから塗布します。
部屋の端から塗り残しのないように薄くムラなく塗布します。
ワックスが完全に乾くまでは歩いたり、物を置かないようにします。
剥離作業はできませんので、ワックスがけはできるだけ薄くし、ワックス皮膜が厚く堆積しないようにします。

◆ ワックスについて

ワックスの種類等によっては床に密着しにくい場合がありますので、必ず以下のワックスをご使用ください。
ワックスは密着しないとすぐに取れてしまいます。適切な方法でワックスを塗布してください。

◆ メンテナンス用ワックス・洗剤一覧（㈱リンレイ社推奨）

ワックス／洗剤	商品名	メーカー	商品に関する問い合わせ先
ワックス	オール	株式会社 リンレイ	TEL：03-3541-5955
	防水タフコート		
洗剤	オール床クリーナー		

※樹脂ワックス・洗剤は、各商品の使用方法や注意点を確認の上、ご使用ください。

◆ ホームエグザ（ピールアップ工法）のメンテナンス上のご注意

ホームエグザはピールアップ工法による簡易施工用製品のため、多量の水を使用すると目地部分から水が入り込み、接着不良等の悪影響を及ぼすことがありますので、十分にご注意願います。

- ※ 洗浄の際は、タイルの継ぎ目から床下へ洗剤が入り込まないようにしてください。また、多量に洗剤を使用したり、洗剤を床面に長時間放置しないようにご注意ください。
- ※ 剥離作業はおこなわないでください。剥離作業は使用する剥離剤の液量が多く、床下へ入り込む危険性があります。
- ※ ワックスがけをおこなう際は、タイルの継ぎ目に溜まらないように注意します。タイルの継ぎ目に樹脂ワックスが浸み込むと、タイルを外せなくなるおそれがありますので、直接床に樹脂ワックスを撒いて塗布することは避けてください。